

広報

おおがた

発行 秋田県大潟村役場 南秋田郡大潟村字中央1番地1
電話 0185(45)2111(代) FAX 0185(45)2162

URL <http://www.ogata.or.jp/>
E-mail: ogata_mura@ogata.or.jp



●今月の主な内容

- ◇ 大潟村チューリップ作品展
- ◇ 冬季ふるさと祭り
- ◇ 農を変えたい！東北集会inあきた
- ◇ チャレンジマインド海外研修事業報告



チューリップ作品展

2月10～12日、恒例のチューリップ作品展が干拓博物館で行われました。今年は秋田美術工芸短期大学のみなさんが記念撮影コーナーを制作。多くの方々が記念撮影を楽しみました。

No. **480**
平成24年
3月号

PolderlipWave2012 大潟村チューリップ作品展



記念撮影コーナーは美短の学生がレイアウト。



栽培ハウス見学ツアーも盛況でした。

2月10日から12日まで、干拓博物館で「Polderlip Wave 2012大潟村チューリップ作品展」が開催されました。期間中は2,600人以上の入館者があり、大盛況となりました。「ポルダーリップ」は、東北一の栽培数を誇る大潟村産チューリップの愛称です。作品展では、大潟村フラワーグローイングセクションの4農家が栽培したチューリップ45種、約3,000本を用いて展示が行われました。

今回は、秋田県で初めてのお披露目となる新品種「ミステリアスパーロット」や、花びらが10枚以上もある「モンテスパイダー」など、希少な品種も展示。また、秋田公立美術工芸短期大学の学生11人が、1,000本のチューリップを用い、記念撮影コーナーを設置。チューリップ畑に包まれているイメージを表現したこのコーナーは大人気で、記念撮影をする人が絶えませんでした。押し花や生け花体験、チューリップ栽培ハウス見学ツアーも行われ、こちらも大人気でした。

また、隣接する産直センターでは、期間中の土・日にあわせて「産直まつり」が開催され、チューリップや新鮮な野菜を買い求めるお客さんで終日賑わいました。



今年は45品種が一堂に切り花展示。中には希少な品種もありました。



熱心に鑑賞している方が多かった生け花展示コーナー。



突然変異で名前のない品種も展示されました。



生け花チャレンジコーナーは子どもたちに大人気。



産直センターは、チューリップを買い求めるお客さんで大盛況。

第33回 大潟村芸文祭



演劇を楽しむ会が「熱海殺人事件」を上演。



生涯学習奨励員が「マルモリダンス」を披露。

2月25・26日、サンルーラル大潟において、「芸文で つながる絆 がんばる力」をテーマに、第33回大潟村芸文祭が行われました。今回は、舞台発表部門に15団体、展示部門に21団体が発表し、たくさんの方が鑑賞に訪れました。

舞台発表部門では、どの団体も日頃の練習の成果を存分に発揮しました。毎年恒例となっている生涯学習奨励員の発表は、「ちんどん隊」と「マルモリダンス」。サプライズで客席からちんどん隊が登場し、こっけいなしぐさとダンスに会場は笑いに包まれました。また今回は、公民館講座の演劇を楽しむ会が、つかこうへいの戯曲「熱海殺人事件」を上演。菅原大地さん（東2-6）が黒いスーツを着た刑事役、佐藤正之さん（東3-3）が恋人の女工殺しの犯人役を務めるなど、生き活きと演じ、素晴らしい演劇となりました。

展示部門では、写真、絵画、書、水墨画などの作品に加え、大潟小学校の正課クラブによる水墨画作品や大潟中学校の選択授業の短歌・川柳や歴史紙芝居も展示され、多くの方が鑑賞していました。また、囲碁同好会による囲碁大会も行われ、熱戦が繰り広げられました。

大潟村の芸術文化のすばらしさを感じることができた芸文祭となりました。



男声コーラスは「行商人」などを合唱。



コールかざはなは「花」など3曲を合唱。



ハノハノ・レファの皆さんによる美しいフラダンス。



熱戦が繰り広げられた囲碁大会。



展示も多くの方々が鑑賞しました。



栢森ヨミさんが「花を惜しむ」を吟じました。

冬季ふるさと祭り

2月5日、多目的運動広場を会場に、第33回冬季ふるさと祭りが行われました。当日は天候に恵まれ、雪遊びには絶好のコンディションとあって、多くの親子連れが参加しました。

宝探しには、村内外から子どもたち150人が参加。スタートの合図とともに、箱の中のカードを目指して、雪の上を元気いっぱい飛び出していきました。ポニー乗馬体験、歩くスキー体験も行われ、多くの参加者がありました。また、婦人会や若妻会などにより屋台が出店され、おいしい米粉うどんや米粉餃子入りスープ、焼き餅、ポップコーンなどがふるまわれ、大盛況でした。

お祭りの後半では、餅つき体験が行われました。子ども用の小さな臼と杵も用意され、小さな子どもたちも餅つきを楽しみました。最後は、子どもの部と大人の部に分かれて恒例の綱引き大会。つるつるした路面に悪戦苦闘しながらも、熱戦が繰り広げられました。



つるつる路面に悪戦苦闘した綱引き大会でした。



餅つき体験は大人気でした。



中学生がボランティアでお手伝い。



宝探しには150人が参加。



今年もポニーが登場。

村民・議員との懇談会

2月4日（土）に村議会議事堂において、8名の村民の出席のもと「村民・議員との懇談会」が開催されました。「開かれた議会活動」を目ざして、議会が主催するこの懇談会も今回で4回目となります。

当日は、議員側から議会の活動状況や議会改革を踏まえた議会運営のほか、保幼小中連携教育やジオパーク、地域福祉や除雪、農業振興などの村政課題や財政状況、昨年出された要望や意見への対応状況について、さらに、男鹿地区消防一部事務組合や八郎湖周辺清掃事務組合、広報編集委員会の現況や取組など多岐に渡る報告がなされました。

続いて意見交換が行われ、「図書室や健康館など公共施設の利用に関する事」「一時保育や子育てに関する事」「原子力発電や分煙などの健康や環境に関する事」「地域福祉に関する事」「議員

活動の評価や議員報酬に関する事」などについて活発な質疑応答や意見交換が行われました。

また、「村の様々な現状をもっと把握して欲しい」「村の課題や現状がもっと村民に見えるようにして欲しい」「懇談会にもっと多くの村民が出席しやすいように開催方法を工夫して欲しい」といった提言もされました。



農を変えたい!東北集会inあきた

1月28・29日、サンルーラル大潟において、「第7回 農を変えたい!東北集会inあきた」(同実行委員会主催)が行われました。

この集会は、有機農業などに取り組む農家自身が主催する大会として、東北地方各県が持ち回りで開催しているものです。今回は、「大震災・原発事故から東北農業の復興を考える」をテーマに行われ、約250人が参加しました。

はじめに相馬喜久男実行委員長が「東日本大震災と福島第一原発事故により東北地方は大きな被害を受けた。昨年福島県を訪れ、現実を見たときには言葉を失った。このような状況のもと、有機農業がどのように役立つかを考えたい。」とあいさつ。続いて、被災地からの報告として、岩手県岩泉町の職員や福島県の農家の方々により、震災後の現状について報告が行われました。

また、東京大学の鈴木宣弘教授が「TPPは間違っている」と題して講演。「貿易の自由化の流れは避けられないのでTPPはやむを得ない」「所得補償すれば関税を撤廃しても大丈夫」など、TPPをめぐる様々な角度から提起されている問題について、19項目の論点にまとめ、それぞれ詳しく説明。そして、「本当の強い農業は、規模を拡大し、コストダウンを行うことではなく、生産者と消費者がつながりあうことで達成できる」と訴えました。



相馬喜久男実行委員長があいさつ。



鈴木宣弘東京大教授が基調講演。



東北各地から約250人が参加しました。

第2回 大潟村の歴史を語る会

1月31日、役場において約40人が参加し、「第2回 大潟村の歴史を語る会」が行われ、大潟村史の監修者で、元秋田魁新報社主筆の藤川浄之さんが「大潟村と私」と題し講演を行いました。

藤川さんは秋田魁新報社の記者当時、長年にわたり八郎潟干拓事業について取材し、新聞記者の立場で大潟村に接していました。今回の講演では当時の取材を振り返るとともに、当時の新聞記事を紹介しながら、「水田が広いだけではモデル農村にはならない。入植者の生きる姿勢が伴わないといけない」「米作りのために入植したのではなく、新しい村をつくる使命感や、農に生きる人間としてのあり方が感じられた」などと述べまし

た。また、農政に振り回された村の歴史に触れ、「すさまじい現実の中で生き抜いた皆さんに、その総括をうかがってみたい」と述べました。



元秋田魁新報社主筆の藤川浄之氏が講演。

大潟村地域福祉計画(素案)のパブリックコメントを募集します。

地域福祉計画とは、高齢者や障がいのある方を含めたあらゆる方が、地域で自立した生活を送ることができるよう、地域で支えあう社会福祉サービスの仕組みづくりを作る計画です。村では、平成22年度より策定委員会を設置し、アンケート調査や住区座談会を開催し村民の方々より意見をいただくなど、住民参加による地域福祉の推進を図ってきました。

このたび、大潟村地域福祉計画策定委員会の審議を経て、「素案」がまとまりました。「素案」に対し、村民の皆さまから意見・要望を募集する「パブリックコメント」を実施しますので、ご協力をお願いします。なお、「素案」については、ホームページに掲載するとともに役場等で入手できます。

◎素案に対するパブリックコメントの実施

大潟村地域福祉計画(素案)に対する意見・要望を募集します。

お寄せいただいた意見などは策定委員会に報告し、検討したうえで計画に反映させます。

◎素案の入手方法

地域福祉計画の「素案」は、以下のどちらかの方法で入手することができます。

①窓口での配布

役場住民生活課および公民館で素案を配布しています。

②ホームページ

村公式ホームページ (<http://www.ogata.or.jp/>) からダウンロードできます。

◎パブリックコメントの募集

【募集期間】 3月2日(金)から12日(月)まで(当日消印有効)

【応募方法】 以下の①～③のいずれかの方法で、パブリックコメントをお寄せ下さい。なお、提出にあたっては、氏名、住所、資料の記載箇所、意見とその理由を必ず明記して下さい。

①役場住民生活課または公民館「ちゃっこ」に設置してある「意見箱」へ投函する。

②役場住民生活課へ郵送かファックスで提出する。

③電子メールで提出する。

◎問合せ 住民生活課 ☎45-2114 FAX. 45-2162 電子メール g-jyumin@ogata.or.jp

NHK「さわやか自然百景」で大潟村が放送されます

日本各地の自然や風景、そこで生きる生き物たちの姿を取り上げているNHKの自然番組「さわやか自然百景」で、「秋田 大潟村」と題し、以下のとおり大潟村の自然が紹介されます。

大潟村には現在、「湿地性里山環境」が形成されており、本州でも有数の野鳥が飛来する環境となっています。野鳥の飛来数が最大になるのは3月で、各地で越冬した渡り鳥たちが北に帰る途中、大潟村に集まります。今回の番組では、野鳥たちが飛来する秋から旅立ちの春までが紹介される予定です。この機会に、ぜひご覧下さい。

【放送日時】

NHK総合 3月18日(日) 7:45～8:00

※放送は予告なしに変更される場合があります。



大潟村に飛来したマガンの群れ

農業実践大学実績報告会

2月16日、役場において、本年度の農業実践大学実績報告会が行われました。この事業は、野菜や花きの栽培に取り組む農業者を対象に、栽培技術と経営感覚の習得・向上を目指して行われたもので、今年は13名が受講しました。

実績報告会では、一人一人が活動を報告。「実践大学ではいろいろな野菜の生長過程を見ることができ、勉強になった」「いろいろなトマトの特徴を知ることができ、大変勉強になった」「いぶりがっこをつくりたいので、大根を栽培し、加工研修に行った。燻し作業も工夫すれば自分でも可能だと思った」などと、感想発表も行われました。受講生全員が、次年度に向けての課題を把握しており、また受講生の中には来年度産直センター湯

の店に野菜を出荷する予定の方もいます。研修成果を生かした今後の取り組みを期待しています。



本年度の実践大学を修了したみなさん。

国際ふるさと料理交流会

2月4日、村民センターにおいて、大潟村国際交流協会主催により、国際ふるさと料理講習会が行われました。これは、県内の海外研修生や大潟村内外在住の外国の方々と、お国料理をとおして交流を深めようと毎年開催されているもので、当日は80人が参加。参加者はグループに分かれ、ブラジル、韓国、アメリカ、カナダ、インドネシアなどの料理、約20種類のメニューを用意。そして、作った料理の紹介が行われました。大潟村三味線愛好会によるアトラクションや雪椿の会による踊りも披露され、とても盛り上がった料理交流会となりました。



三味線の演奏にチャレンジ。

チャレンジマインド海外研修報告会

2月17日、役場においてチャレンジマインド海外研修報告会が行われました。この研修事業は、農業研修等を通じて村農業の発展に結びつけるとともに、異文化交流を通じて国際的視野をもつ人材の育成と国際交流の推進を目的として、本年度から実施しているものです。当日は、村民・役場職員など約60名が出席。本間久毅さん（農業、西3-2）、菅原大地さん（農業、東2-6）、石川猛さん（役場職員、北1）が研修の報告を行いました。

なお、今月から3回にわたり、参加者の研修報告を広報に掲載いたします（8,9ページ参照）。



研修成果を発表する本間久毅さん。

チャレンジマインド海外研修事業 研修報告

村では、本年度から「チャレンジマインド海外研修事業」を実施しています（7ページ参照）。
今回から3回にわたり、研修生の報告を掲載いたします。

パラグアイ・イグアス日本人移住地を訪問して

産業建設課 主事 石川 猛



昨年12月17日から21日まで、現地の日本人移住農家を組合員とする「イグアス農業協同組合」に研修受入をしていただきました。

イグアス移住地は、入植が始まり50周年の日本人居住地です。現在でも入植1世が現役の経営体も多く見受けられました。移住地は、イグアス市という行政区域の中に位置し、約220世帯、750名程度の日本人が生活しています。市内の非日系人世帯数は1,676世帯、8,300人程度です。

パラグアイは世界第2位の汚職国家との統計もあり、現地では市役所の腐敗がひどく、本来行政が担う福祉、インフラ整備維持、医療、教育、産業振興等を「イグアス農協」、「イグアス日本人会」が担っています。このため日本人会では、採石場を運営し事業収入を各活動に充当しています。また、日本の経済団体からの援助による施設等もありました。

イグアス農協は、組合員数90名、純農家組合員60名程度であり、信用・購買・営農等の基本事業の他、小麦製粉サイロ等の運営など、組織規模以上の事業を手がけています。財政規模は資産約25億円、事業利益約2億円、1組合員当たりの出資金約430万円であり、自治体的役割を担わざるを得ない現地の実情を表した数字と感じました。

主な作物は大豆であり、平均経営面積が約200ha、大規模農家では1,000ha以上です。1961年の入植当初から1970年代まではトマト栽培が中心でしたが、栽培面積増加に伴う価格下落により、大豆への転換が図られました。その際、農協・農家ではサイロ施設や機械投資を行ったものの、その負担と不安定な収量によりなかなか軌道に乗らず、一時期は農協解散、移住地の存続の危機に瀕したそうです。

1980年代になると日本政府による援助、不耕起栽培導入による収量安定化の成功、大豆の国際相場価格の高騰等により農家、農協の財政状況は一変し、現在では大豆と小麦、ヒマワリ、トウモロコシなどのブロックローテーション型、肉牛等との農牧複合型、メロンなどによる価値作物附帯型など様々な営農の経営体が存在し、当村における稲

作単作、大豆複合、果樹・花卉等園芸作物附帯型の営農類型と酷似しております。

農協集荷大豆の大半は遺伝子組換え大豆であり、油脂用として「カーギル」等の米国企業へ販売し輸出しています。遺伝子組換え種のため、害虫防除、雑草対策は農薬1回の散布のみで、コストが低減されています。また、非遺伝子組換え大豆も付し日本へ輸出しているとのことでした。

主な輪換作物は小麦であり、農協保有の乾燥・製粉サイロで集荷から流通までを手がけています。規模は、収容能力13,000tクラス・製粉能力40t/日で、個々の経営体の営農規模が大きい事を実感しました。

また農協では圃場80haを所有しており、永続農業を目指そうと、複合経営の一手段としてマカダミア・ナッツ、レモンの栽培を模索していました。

今回、私は5経営体を訪問しましたが、農家個々の課題、居住地全体が直面している課題については、当村が同じく持っている課題とほとんど共通しております。



居住地の中心にある公園内の鳥居風モニュメント

①大豆単作経営の限界と複合経営への模索

良好な経営状況をもたらした大豆栽培ですが、単年単作では天候・国際価格の変動に大きく影響を受け、それを補完するため複合作物栽培、牧畜とのブロックローテーション型農業への転換が多くの経営体で図られています。この点については、稲作依存から脱却し、野菜、花卉等との複合経営を推進させたいという当県・村農業行政の方向と合致するものです。

②現地政府によるハードルの高い環境政策への対応

パラグアイ政府による農業政策は厳しく、耕地面積の25%を原生林のまま所有することや、河川沿い農地は原生のまま100mを保護することなどとなっています。これまでは行政が腐敗しているため、実質抜け穴で遵守する農家はほとんどいないのが実情でした。しかし近年、行政による指導が厳正になり、改善の対応に迫られているとの事でした。このため環境に対する意識は高く、水質改善への取組を腐心している当村と問題の発端こそ違い共通していると感じます。

また、イグアス日本人会では、多くの農家に先駆けて植林事業を実施しており、日本からも多くの経済団体、自治体、個人などが植樹や助成がなされているとの事です。大潟村では、アマゾンへの植林活動が村民間で行われていますが、イグアスへの植林活動へも寄与できないかと強く感じました。

③地元農家との収入格差を起因とした各問題

イグアス日系農家平均経営面積が約200haであるのに対し、周辺の現地農家経営面積は3～10haであり、そのほとんどが流通・販売面の未熟な一次産業農家です。日系農家との収入格差は大きく、反発もあるそうです。この格差是正と現地農家の営農支援等を目的に、農協・日本人会が共同運営組織である「地域振興協会」を設立し、近隣の農家をサポートし、協同販売や野菜栽培などを支援しています。一方、自己所有農地を持たない貧困層による日系農家耕地への不法侵入や占拠が発生しており、日系農家にとって問題となっているとの事です。

入植1世は生活基盤の安定、経営面積拡大が大きな目標と推察されますが、2世代が中心の現在は、地域社会との調和が大きな課題と感じました。訪問した農家の農場のほとんどで現地人が従業員として農作業に従事しており、「パラグアイ人や先住民へ雇用の機会を提供する事が日系社会にとって治安の向上に繋がる」というある農家の言葉は、日本社会の中では実感できない重みのある言葉でした。

④農業依存体質からの脱却による雇用の創出の必要性

現地では、入植者2世、3世の農業経営以外の就労先がなく、地域外、国外への流出が課題とのことです。25～30歳代の多くは日本へ出稼ぎに

行ったり、そのまま日本へ残る場合もあるとのことです。我が国の地方部が地元就労場所の不足から過疎化が進んだように、イグアス居住地でも危機感は大きく、農協であれば組合員で様々な論議が交わされているそうです。その中で、加工産業を構築し、生産から流通販売までを一貫して手がけることで、雇用創出を検討しており、当村と類似している部分が多いと感じました。



イグアス秋田県人会長 伊藤氏、現地人従業員と農場にて

おわりに

現地の実情を十分に把握、理解しないままの訪問となりましたが、実際に現地の営農の実情、地方自治の機能不全による日本人会・農協と居住地住民による協働自治の実態、農家が直面している喫緊の課題などは、当村の農家後継者のみならず、行政職員として有益なものでした。現地状況を当村と比較することが容易であり、行政実務における「気づき」「改善」に役立ち、得るものがとても多いと感じました。また、当村からの単方向ではなく、イグアスからのインバウンドを検討するべきではないかと強く感じます。互いの地区を訪れ、見て、聞いて、自分の地域の特徴について意見交換する事はとても財産になるものです。現地において、基礎自治体は実質的に農協と日本人会であることから行政研修として有益な訪問地であることを確信したものとなりました。



イグアス農協職員と事務所前にて

大潟村情報発信者コラム

村史編さん「こぼれ話」(その1)

海山 徳宏



平成21年の4月から、「大潟村史」の編集がスタートしました。刊行は村創立50周年の平成26年です。その編集に携わって、今年で足かけ3年になります。

編集作業の中での興味深い事柄のいくつかをご紹介します。

<墓地公園の造成>

昭和48年に墓地公園が完成しました。ご存じのように、墓石は全部同じ形で同じ大きさです。当初、「すでに墓石を買ってあるので、それを建立したい」という方や、「大きな区画を希望する」など、それぞれの思惑があったようです。しかし、墓地整備推進委員会会長の寺田定氏は「ハワイにある戦没者墓地公園のような整然とした区画こそが、万霊平等にふさわしい。大潟村では“お墓戦争”をすべきではない」と主張し、現在あるような整然とした墓地公園になったそうです。

<婦人の家>

昭和45年からの減反は大潟村のみならず日本の農家に激震をもたらしました。このことがきっかけになり本来の水稻一期作だけでなく畑作もするようになり、主婦の労働が増大することになりました。

農作業と家事育児で主婦の負担は増すばかり。その状況を何とかしようと立ち上がったのが農協婦人部でした。当時の部長だった松本類さんは、共同炊事をしたいと村当局や農協、事業団などと折衝を重ねましたが、なかなか良い返事

がもらえず苦勞したそうです。

最終的には訓練所で使って

いた食堂棟を開放してもらい、設備を整え、改装を重ねながら昭和50年5月10日、第1回共同炊事に漕ぎ着けました。320食の申し込みがあり、以来、今日まで営々と続いています。

<芸文協の誕生>

昭和50年代に入ると村民の間で同好会がいくつか作られるようになりました。そのころ、県から派遣されていた公民館主事の近江谷勇氏は、当時、推進されていた生涯教育との連携を視野に、ばらばらに行われていた活動をひとつにまとめるレクリエーション協会をつくることを提唱しました。

そんな中、昭和54年3月に第10回文化祭が公民館で開催され、展示や発表はいつになく充実。そのことがきっかけになり、大潟村芸術文化協会設立の機運が高まりました。

同じ年の4月、レクリエーション協会は発展解消し、村上一栄氏を初代会長に芸文協が誕生しました。翌55年2月29日と3月1日の2日間に開催された第1回芸文祭は、公民館の2階ホールが会場でした。フィナーレはウキヤガラボーイズの演奏に合わせての「風よとどけよふるさとへ」の合唱。会場の歌声はひとつになり、涙をながしながら歌う人もおり、拍手は鳴りやまなかったと、設立に係わった田村陽子さんは話して下さいました。

文芸 おおがた

りんどうの会

大井 正子

祈りあり小さき村の雪あかり
軒つらら心の中のドレミファソ

今野サト子

過ぎし日ははらはらと捨て梅一輪
言ひ訳も寒も居坐る長廊下

工藤 孝子

卒業や母よりも伸び孫の丈
盆栽に息を吹きかけ梅芽ぶく

仁田原鈴子

太棹の「あいや」切れぎれ雪しまく
明るみて端縫いの手元春兆す

浅野 法子

追いかけて追いかけて春を待つ
遠近の絆結びし春便り

田村 陽子

降って降って村をまあるくする雪よ
生牡蠣の喉通るとき潮鳴りす

大潟村健康づくり推進委員会から

がん検診後の精密検査は受けましたか？

昨年行われた定期健診において、がん検診を受診された方は、昨年の11月下旬に検診結果をお届けしています。要精密検査という結果の方は医療機関を受診しましたでしょうか？

「精密検査が必要＝がん」ではありません。もう少し詳しい検査をしてよく調べましょう、という意味です。怖がったり、面倒がらずに、早めに医療機関を受診して検査を受けましょう。

がんを予防するには？



◎胃がん予防

喫煙や塩分の取りすぎは、胃がんの危険因子です。

野菜や果物の摂取は予防効果があるとされています。

胃がんの予防には禁煙と、減塩などの食生活の改善が重要です。



◎肺がん予防

喫煙は、肺がんの最大の危険因子です。

肺がんの予防として最も大切なのは、たばこを吸わないことです。

現在たばこを吸っていても、禁煙することで、肺がんの危険性を減らすことができます。

禁煙後10年で、肺がんの危険性は1/2～1/3まで減少します。



◎大腸がん予防

直系の親族に大腸がんの人がいること、肥満、飲酒、加工肉（ベーコン、ハム、ソーセージなど）の取り過ぎが、大腸がんの危険因子とされています。

運動は、大腸がんの予防効果が確実とされています。

食習慣を見直すとともに、肥満の解消にも役立つ運動を続けましょう。



◎子宮がんの予防

子宮頸がんでは喫煙、子宮体がんでは肥満が危険因子とされています。

子宮頸がんはヒトパピローマウイルス（HPV）の感染が主な原因です。

感染する前の若い年齢では、HPVワクチンによる予防が可能です。ワクチンを接種した場合も、子宮がん検診を定期的に行うことが重要です。



◎乳がん予防

過度の飲酒は乳がんの危険因子です。

運動は、乳がんの予防効果が確実と言われています。

閉経後の肥満も危険因子であることから、過度の飲酒は避け、適度な運動をこころがけましょう。





男鹿半島・大潟ジオパーク 登録記念フォーラムを開催します

昨年9月、大潟村と男鹿市全域が「男鹿半島・大潟ジオパーク」に登録と

なりました。ジオパーク登録を記念するとともに、世界ジオパーク認定を目指すため、持続可能な地域活性化ツールとしてのジオパークの魅力について、教育・観光・防災などの分野で情報発信を行います。

また当日は、男鹿半島・大潟ジオパークのロゴマーク発表も行われるほか、日本各地のジオパークのポスター・パンフレット展示も行われます。皆様お誘いあわせのうえ、ぜひお越し下さい。なお、参加及び昼食は申込が必要です。

【日 時】 3月11日（日）10:30～15:50

【会 場】 サンルーラル大潟

【参加費】 参加は無料です。 昼食（お弁当、1,000円）をご希望の方はお申し込みが必要です。

【内 容】

①男鹿半島・大潟ジオパークロゴマーク発表

②児童・生徒による取り組みの発表

「不思議・発見・ジオパーク」

脇本第一小学校 校長 鈴木 雅彦 氏

脇本第一小学校 4年 高桑 海人さん

薄田 莉央さん

「大潟村での自然観察会」

大潟中学校 1年 近藤 尚子 さん

③アトラクション「バーチャルジオツアー」

大潟村案内ボランティアの会 石原 敏子 氏

男鹿市観光協会 三浦 綾子 氏

④基調講演「持続可能な地域活性化ツールとしてのジオパーク」 秋田大学名誉教授 白石 建雄 氏

⑤座談会「ジオパークと地域活性化」

進行 秋田大学教育文化学部教授 林 信太郎 氏

【申込・問合せ】 昼食をご希望の方は、3月5日（月）までに以下にお申し込み下さい。

大潟村役場総務企画課

☎45-2111 FAX 45-2162

男鹿市教育委員会生涯学習課

☎46-4110 FAX 46-2141

地

上デジタル放送のチャンネル再設定について

受信環境改善のため、NHK総合およびNHKEテレ（教育）、ABS秋田放送の3波について、昨年11月1日から新・旧チャンネルで同じ番組を放送しています。

放送局	リモコン番号	新チャンネル	旧チャンネル
NHK 総合	1	48ch	15ch
NHKE テレ（教育）	2	50ch	13ch
ABS 秋田放送	4	35ch	17ch

3月22日（木）からは、お手持ちのテレビやチューナー、デジタルレコーダーが新しいチャンネルへ自動的に移行するための信号を加え、4月3日（火）から旧チャンネルの電波出力を徐々に下げていく予定です。テレビの映りが悪くなったり、見えなくなった場合は、旧チャンネルを受信している可能性がありますので、各機器の取扱説明書に従って、チャンネル再設定をお願い致します。

「再設定の方法」など、詳しいお知らせは、今月中に各ご家庭にチラシを配布します。ご自身でこの作業ができない方は、下記コールセンターにご相談ください。無料で再設定のお手伝いをします。

【問合せ】 チャンネル変更コールセンター
☎0120-922-303 （フリーダイヤル）
平日 9:00～21:00朝（土日祝は18:00まで）

総務企画課からのお知らせ

総務企画課 ☎ 45-2111

西 2丁目4番地 宅地分譲のお知らせ

- 【分譲地】 西2丁目4番地41 土地面積484.12㎡
- 【分譲価格】 5,125,490円（建物なし）
- 【対 象】 村外居住者及び村内外の一般勤労者
- 【分譲の決定】 書類選考のうえ、先着順です。
- 【申込・問合せ】 総務企画課 ☎45-2111

平 成24年度交通災害共済・ 不慮の災害共済受付中!!

万一の事故やけがの治療に備えて、是非ご家族で加入下さい。パンフレットは総務企画課にあります。

- 【加入資格】 村に住所がある方
- 【受付期間】 2月1日から7月31日まで
- 【共済期間】 4月1日から平成25年3月31日まで
※1年ごとに加入手続きが必要です。
- 【共済掛金】 交通災害共済 : 1人400円
不慮の災害共済 : 1人600円
- 【申込窓口】 総務企画課、秋田銀行、北都銀行、
ゆうちょ銀行または郵便局など
- 【問合せ】 総務企画課 ☎45-2111

選挙管理委員会からのお知らせ

選挙管理委員会 ☎ 45-2111

20 歳を前に村を離れた方が戻ってきた 場合はご連絡をお願いします

20歳になると選挙権を有しますが、選挙権をもっている、実際に投票するためには、村の選挙管理委員会が管理する「永久選挙人名簿」に登録されていなければなりません。そこで大潟村選挙管理委員会では、20歳になった時点で、村の住民基本台帳に登載されている方が村に居住しているかを確認しています。居住していない場合は、村の永久選挙人名簿に登載されません。従って、選挙の際に入場券が送付されることはありません。

20歳前に村を離れ、現在は村に戻っている場合は、以下に連絡してください。村選挙管理委員会を確認してから3か月経過後に、村の永久選挙人名簿に登載されます。

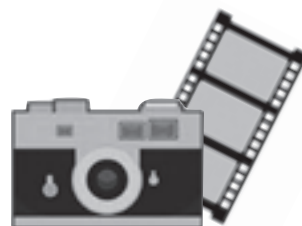
【問合せ】 選挙管理委員会 ☎45-2111

大 潟村史別冊「写真集」に掲載する 写真の提供にご協力を!

平成26年の大潟村史刊行にあたり「写真集」を刊行する予定です。様々な分野の写真を網羅したいと思っていますので、お手持ちの写真をご提供いただけますようお願い致します。

写真は、プリントされた写真、フィルム、データいずれの形状でもかまいません。編さん事務局にご持参いただければ、その場でスキャンし写真は返却いたします。その際、写真に関する説明（撮影日時、内容）を添付していただければ助かります。都合上、すべての写真を掲載できるとは限りませんが、巻末にご提供者の氏名を記載し、データとして保存し、後世に伝えたいと思います。ご提供いただいた方には記念の品をお贈りいたします。

【問合せ】 総務企画課
☎45-2111



議会事務局からのお知らせ

議会事務局 ☎ 45-2587

村 議会3月定例会の日程 (予定)

平成24年第2回（3月）定例会は、以下の日程で行われる予定です。皆様の傍聴をお待ちしています。

- 【会 期】 3月7日（水）～15日（木）
- 【日 程】 7日：本会議（村政報告・一般質問）
8日：本会議（総括質疑）
9～14日：各委員会審議
15日：本会議（委員長報告、提出議案の採決）

【備 考】 議会の日程は、2月28日現在の予定です。日程の変更等は以下に問い合わせいただくか、ホームページで確認をお願いいたします。

【問合せ】 議会事務局 ☎45-2587
総務企画課 ☎45-2111

ホームページ <http://www.ogata.or.jp/gikai/>

産業建設課からのお知らせ

産業建設課 ☎ 45-3653

特定公共賃貸住宅 入居者募集 (独身用)

【募集個数】 3戸

【家賃】 22,000円/月

【募集期間】 3月5日(月)～9日(金)

※所得(1か月あたりの所得が158千円以上487千円以下)や資格要件があります。

【申込・問合せ】 産業建設課

☎45-3653



「桜と菜の花まつり」用こいのぼり募集

ご家庭で不用になった「こいのぼり」を募集しています。これまでも、たくさんの皆様からこいのぼりをお寄せ頂き、桜と菜の花まつり期間中にミニSL会場に揚げておりましたが、毎年、こいのぼりが風で飛んでしまったり、破れたりしています。今年の桜と菜の花まつり会場で泳がせる予定ですので、不用になったこいのぼりをお持ちの方は、ぜひご協力くださるようお願いいたします。ご協力いただいた方には、今年のミニSL乗車券(10枚)をお贈りいたします。

【募集期間】 3月31日(土)まで

【問合せ】 産業建設課 ☎45-3653

住民生活課からのお知らせ

住民生活課 ☎ 45-2114

転出する方(学生など)は転出届を忘れずに

進学、就職等で村から転出する方は異動届を提出して下さい。例年、進学のために村外へ引っ越す学生について、届出忘れが多く見受けられます。学生であっても転出届は必要ですので、忘れずに手続きをお願いします。

なお、学生の場合、国民健康保険被保険者証はそのまま転出先で使えます。入学後、学生証の写しを役場に提出して下さい。

【問合せ】 住民生活課 ☎45-2114

戸籍謄抄本・住民票を請求できる人について

戸籍謄抄本・住民票は、家族の誰もが請求できるものではありません。右記以外の方が請求する場合、基本的には委任状が必要です。

例えば婚姻した兄弟姉妹の現在の戸籍謄抄本は、当然には請求できません。請求対象者の父母等、直系親族に請求してもらうか、兄弟姉妹からの委任状が必要です。また、世帯分離・別居している家族の住民票の請求にも、委任状が必要です。

ただし、正当な請求事由を明示した場合等、右記以外の方も請求できる場合があります。個々のケースによりますので、詳しくはお問い合わせ下さい。

【問合せ】 住民生活課 ☎45-2114

	請求できる人	例 (請求対象者から見て)
戸籍謄抄本	直系尊属 直系卑属 配偶者	父母・祖父母・ 子・孫・夫・妻
住民票 世帯票	同一世帯の人	同居している家族 同居人

国民健康保険の手続きをお忘れなく!

3月、4月は異動の多い時期です。国民健康保険の加入・脱退には窓口での手続きが必要です。下記のような場合は、14日以内に届出しましょう。

【問合せ】 住民生活課 ☎45-2114

	こんなとき	必要なもの
国保に加入	・職場の健康保険から抜けた時 ・職場の健康保険の被扶養者から外れた時	・健康保険資格喪失証明書(辞めた会社でもらえます) ・年金証書(年金受給者のみ)・印鑑
国保を脱退	・職場の健康保険に加入した時 ・職場の健康保険の被扶養者になった時	・健康保険証もしくは資格取得証明書・国保被保険者証(回収します) ・国保高齢受給者証(該当者のみ、回収します)・印鑑
学生の特例	・就学のために住所を移すとき ※学生の場合、特例としてもとの国保に入ったまま住所を移すことができます。手続きが必要です。	・学生証の写し、もしくは在学証明書・保険証 ・印鑑

住民生活課からのお知らせ

住民生活課 ☎ 45-2114
保健センター ☎ 45-2613

3 /1～3/7は子ども予防接種週間

3月1日（木）から7日（水）までの期間は「子ども予防接種週間」です。接種を忘れていませんか？この機会に母子健康手帳で確認し、接種していない場合は、早めに受けましょう。

◎日本脳炎の予防接種は、3歳になったら接種しましょう。

◎麻しん風しん(MR)の予防接種を中学校1年生・高校3年生でまだ接種していない方は、3月31日までに接種しましょう。

なお、予防接種週間の土・日曜日(3・4日)に、予防接種を実施している医療機関もあります。詳細は、保健センターにお問い合わせください。

【問合せ】保健センター
☎45-2613



健康推進員を募集します

村では、村民の健康増進を図るため、種々の事業を行っております。健康づくりの実施や対策調査の推進母体となる「健康推進員」を次により募集しますので、住民の健康づくりにご協力頂ける方の応募をお待ちしております。

【募集人員】3名

【任期】平成24年4月～26年3月（2年間）

【募集条件及び対象】

次の役割を理解し、任期期間務めることができる村民

- ①健康推進員会への出席（年6回程度）
 - ②住民の健康づくりに対し建設的かつ具体的な意見がある方
 - ③健康づくりの実践活動に協力できる方
- ※応募者が募集人員を超えた場合は抽選とします。
なお、平成23年度の健康推進員は次の28人になっています。

住区推薦、若妻会、婦人会、老人クラブ、公募

【申込・問合せ】3月30日までに保健センターへ
☎/FAX 45-2613

住民基本台帳カードを作りませんか？

最近、本人確認のために身分証の提示を求められる機会が増えてきました。住民基本台帳カードは写真付き身分証明書として使えます。この機会にぜひ作ってみませんか？

【こんな方におすすめです】

- ・運転免許証を自主返納した方
- ・運転免許証を車に常備している為、携帯用の身分証明書が欲しい方
- ・インターネットで確定申告をしたい方
（別途、公的個人認証の申し込みが必要です）

【申込に必要なもの】

- ・写真（役場にて無料で撮影できます）
- ・手数料 500円
- ・写真付き身分証明書
（お持ちで無い方は健康保険証等）

【作成期間】1～2週間程度

【申込・問合せ】住民生活課 ☎45-2114

わらび座生き生きシアター「笑顔予報は晴れのち晴れ」が上演

高齢者の自殺予防普及啓発事業として、劇団わらび座による生き生きシアター「笑顔予報は晴れのち晴れ」が上演されます。秋田県のとある農村に住む家族に、「MHKのご自慢」出演の話が舞い込んできたことから話が始まります。家族の絆と生きがいを見つけていく、涙と笑いのミュージカルです。どなたでも観劇できます。なお、未就学児の入場はご遠慮ください。

【日時・会場】

- 3月11日（日） 秋田県児童会館
- 3月17日（土） 大館市民文化会館
- 3月18日（日） 横手市民会館

どの会場も開場13:00、開演13:30です。終演後はアフタートークがあります。

【定員】500名

【参加費】無料

【申込・問合せ】代表者の氏名、電話番号、観劇会場、観劇人数を以下にお知らせください。

県健康福祉部健康推進課 ☎018-860-1422
Eメールkenkou@pref.akita.lg.jp

住民生活課からのお知らせ

保健センター ☎ 45-2613
地域包括支援センター ☎ 22-4321

転倒予防教室「元気!はつらつ教室」

転倒などによる寝たきりを予防し、自分らしい生活が送れるように、筋力の維持、向上をはかります。

【開催日】 3月7・14・21日(全て水)13:30～15:00

【会場】 ふれあい健康館

【講師】 健康運動指導士 児玉美幸氏、
加藤光葉氏

【対象】 おおむね65歳以上の方

【問合せ】 地域包括支援センター ☎22-4321

介護予防教室「いきいき元気の集い」

いきいきとした生活ができるように、歌や体操、ゲームをしながら楽しく過ごします。

【日時】 3月6日(火) 10:30～11:30

【場所】 ふれあい健康館

【対象】 おおむね65歳以上の方

【問合せ】 地域包括支援センター
☎22-4321



教育委員会からのお知らせ

学校教育班 ☎ 45-3240
保育園 ☎ 45-2462

臨時職員募集

教育委員会では、以下のとおり臨時職員を募集します。

選考は、履歴書持参時に面接を行いますので、申込をされる方は、電話にて面接の予約をして下さい。

【申込・問合せ】 教育委員会学校教育班 ☎45-3240

募集職種	地質調査員【緊急雇用】	地質調査補助員【緊急雇用】
勤務内容	村内の地質調査の企画、実施、報告書作成	村内の地質調査の補助
募集人数	1名	2名
勤務場所	干拓博物館	干拓博物館
勤務時間	週23時間15分	週23時間15分
休業日	不定休	不定休
賃金	日額12,000円(上限)	日額8,000円(上限)
福利厚生	社会保険、雇用保険	社会保険、雇用保険
任用期間	4/1～9/30(更新有)	4/1～9/30(更新有)
応募資格	失業者の方	失業者の方

子育て支援センター「にこにこひろば」 みんな、あそびにおいでよ!

子育て支援センターは、いつでも好きな時に立ち寄れる「交流と遊びのひろば」です。たくさんの人との交わりの中で、楽しさや喜びが親子で共有できるような時間・空間を大切にしています。親同士、子ども同士の小さな出会いの場として、また、子育ての楽しみを広げる場として気軽に遊びに来てください。

【利用日時】 月曜日～金曜日 9:30～12:00, 13:00～15:30

【休館日】 土・日・祝日、年末年始

【問合せ】 大潟保育園 子育て支援センター ☎45-2462

<3月のさくらんぼクラブ予定>

○おおきくなったね☆おたのしみ会

～大きくなったことを喜ぶ(潟っ子広場と合同)～

今年度最後のさくらんぼクラブです。大きくなったことを喜び合い、一緒に楽しいひとときを過ごします。お友だちと誘い合って遊びに来て下さい。

【日時】 3月27日(火) 10:00～11:00

【会場】 子育て支援センター・大潟保育園ホール

<4月のさくらんぼクラブ予定>

○はじまりの会 ～みんな☆なかよし～

平成24年度の子育て支援センターは、4月5日(木)から始まります。

【日時】 4月5日(木) 10:00～11:00

【会場】 子育て支援センター

教育委員会からのお知らせ

学校教育班 ☎ 45-3240
干拓博物館 ☎ 22-4113

『国の教育ローン』融資を受けている方へ ～村が利子の一部を支援します～

【『国の教育ローン』とは】

日本政策金融公庫が融資する教育資金で、高等学校以上の学生一人につき、融資額300万円以内（平成22年3月31日以前に融資を受けた方については、融資額200万円以内）、返済期間15年以内となっています。

【対象者】『国の教育ローン』の融資を受けられた村内居住者または村内金融機関から教育資金の融資を受けられた村内居住者。

【補助額】平成23年度（平成23年4月1日～平成24年3月31日）支払利息額の1/2の額を補助します。

（例）平成23年度支払利息額29,297円の場合
29,297円×1/2＝補助金額14,648円

（1円未満切り捨て）

【申請・問合せ】3月12日（月）までに大潟村教育委員会事務局（☎45-3240）へ申請して下さい。なお、申請用紙は教育委員会に用意してあります。

【申請時に持参するもの】印鑑・償還表（貸付金支払明細書）を持参して下さい。なお、申請の際に振込先口座番号を記入していただきますので、メモをしてきてください。



野鳥観察会

「干拓地にやってくる渡り鳥に会いに行こう」

NHKの番組でも取り上げられ反響を呼んだ「野鳥と共生する農業の村大潟村」、その意義をみんなで考えてみよう。この時期みられる貴重な野鳥について学び、村内を巡って大潟村ならではの鳥たちの様子を観察します。

【日 時】3月4日（日）9:00～12:00

干拓博物館前集合。「バス」で移動します

【対 象】どなたでも（小3以下保護者同伴）

【定 員】先着30名

【講 師】呉地正行さん（日本雁を保護する会会長）

【参加費】1人50円（損害保険料として）

【主 催】教育委員会

【申込・問合せ】3月3日（土）までに干拓博物館へ
☎22-4113

公民館図書に新刊が入りました

なでしこジャパンの強さの秘密「なでしこ力」など、60冊ほどが入りましたのでご利用ください。体のラインが気になる方は、「続 体脂肪計タニタの社員食堂」を参考にしてみてもはどうでしょう。また、皆さんが借りていきました本ですが返却されていない本がたくさんあります。忘れている方は届けてください。

【問合せ】公民館 ☎45-2611

大潟村のこども園

in 大潟保育園

☆「じょうわ」っておもしろい！

Aくんはくしゃみをしたところ、口元まで鼻水がでてしまいました。

Aくん「わあ！先生、鼻水出ちゃったよ」

先生「あらまあ、Aくん、ちりがみ持っています拭こうね。」

Aくん「先生、何？おりがみ？」

Bさん「先生、鼻水おりがみで拭いたら、もったいないよ。」

先生「ごめん、ごめん、ティッシュのことだよ。先生、昭和の生まれなもので、ついつい、ちりがみって言うっちゃった。」

Aくん「へえ、じょうわっておもしろいんだね。」

子どもたちとの年の差を感じた先生でした。

☆節分

Cさんは節分の豆まきをとてもしにしています。

Cさん「先生、もう何こ寝たら、たねまきの？」

さすが大潟村です。豆まきより種まきが身近な言葉だったのでしょ。

次は大潟幼稚園のつばきです。

教育委員会からのお知らせ

体育館 ☎ 45-2269



みんなでつくろう！一緒に楽しく活動しませんか！
 スポーレの教室をきっかけにスポーツしてみませんか？
 スポーツで健康なからだづくりを！
 村のスポーツ・コミュニティー、ただいま会員募集中！
 詳しいお問い合わせは村民体育館へ。☎45-2269

3月の教室の予定

種 目	開 催 日	開始時刻	会 場	備 考
シェイプアップ(ヨガ他)	3月6・13日	10:00	村民体育館	シューズ持参
太極拳	3月7・14日	10:00	公民館	シューズ持参
ボクサ&ストレッチ	3月2・9・16日	10:00	村民体育館	託児あり
ポールストレッチ	3月5・12日	19:00	ふれあい健康館	
ジュニア体操	3月1・8・15日	16:00	村民体育館	
スキー&温泉	3月3日	6:30	青森県八甲田	公民館前集合・出発
3B体操	3月2・9・16日	19:30	ふれあい健康館	シューズ持参

※ボクサ&ストレッチ教室は託児がありますのでご利用ください。
 教室に参加される方は水分補給等の準備をしてください。

村民スポーツ大会の結果

◎村民ボーリング大会結果

1月23日に能代スポーツセンターで開催。参加11名。
【6Gアメリカン方式】 優勝：武石秀之助1,148点
【ハイゲーム】 優勝：青柳佑宜205点
【ハイシリーズ】 優勝：和田肇552点

◎村民ソフトテニス大会結果

2月12日に村民体育館で開催。参加16名。
【男子の部】 優勝：浮田英太郎・袴田文雄
【女子の部】 優勝：松橋良子・松橋華穂里

◎村民ゲートボール大会結果

2月20日にふれあい健康館で開催。参加22名。
 優勝：竹チーム（荒谷武、三浦保子、戸堀愛子、佐藤茂穂、佐藤正一）

◎村民バドミントン大会結果

2月18日に村民体育館で開催。参加68名。
【中学生男子の部】 優勝：小林大那・佐々木幸太
【中学生女子の部】 優勝：近藤尚子・日諸夏海
【一般の部1部】 優勝：加島薫・池田龍成
【一般の部2部】 優勝：木津谷智恵子・板垣和美

◎村民ミニテニス大会結果

2月19日に村民体育館で開催。参加55名。
【小・中学生の部】 優勝：三浦健太・三浦凌一郎
【スポーレ女子の部】 優勝：佐野麻寿美・三浦礼美子
【一般男子の部】 優勝：一色田純一・戸津喜助
【一般女子の部】 優勝：湊友子・船木くに子

秋田県農業研修センター3月の研修予定

問合せ：農業研修センター☎45-3113 生態系公園管理事務所☎45-3106

◎郷土種育種研修会

【日時】 3月6日 13:30～15:30
【定員】 20名 **【費用】** 無料
【問合せ】 農業研修センター

◎農村起業家研修「食品表示②」

【日時】 3月7日 10:30～15:00
【定員】 20名 **【費用】** 500円
【問合せ】 農業研修センター

◎ブルーベリーの育て方

【日時】 3月17日 13:30～15:30
【定員】 20名 **【費用】** 無料
【問合せ】 生態系公園管理事務所

◎シンビジュームの植替え、育て方

【日時】 3月31日 13:30～15:30
【定員】 20名 **【費用】** 500円
【問合せ】 生態系公園管理事務所

◎企画展「クリスマスローズ展」

【期間】 3月11日まで
【費用】 無料
【問合せ】 生態系公園管理事務所

情報・募集・ご案内

大潟村社会福祉協議会から

社会福祉協議会職員募集

- 【採用予定人数】 1名
- 【受験資格】 以下の条件を全て満たす方
- ・社会福祉士の資格を有する方
(平成24年3月末までに取得可能であれば可)
 - ・昭和45年4月2日～平成2年4月1日生まれの方
 - ・採用後、南秋田郡町村に居住できる方
- 【提出書類】 ①履歴書、②作文(「地域福祉」について800字程度)
- 【受付期間】 3月1日(木)～3月9日(金)
- 【面接】 3月16日(金)にふれあい健康館で予定
- 【問合せ】 社会福祉協議会 ☎45-2840

自衛隊秋田地方協力本部から

防衛省採用試験のご案内

防衛省では、平成24年度採用試験を行います。

◎幹部候補生

【応募資格】 20歳以上26歳未満の男女(大卒見込を含む)

【申込】 4月27日まで

【一次試験】 5月12日・13日

◎予備自衛官補

【応募資格】 一般：18～33歳の方、技能：18～54歳の方(資格により異なります)

【申込】 4月4日まで

【試験】 4月14日

◎問合せ 自衛隊秋田募集案内所

☎018-864-4929

五城目警察署から

地震・津波への警戒意識をもちましょう

東日本大震災から1年、地震や津波への警戒意識を高めましょう

【日頃の備え】

- ・安全な避難場所・避難ルートを確認しましょう。
- ・災害用伝言板サービスの活用など、家族間の連絡手段を確認しておきましょう。
- ・家屋や家財道具について、転倒・落下防止措置を講じましょう。
- ・懐中電灯、ラジオ、貴重品、食料品、医薬品などの非常持出品を準備しておきましょう。
- ・非常持出品は、すぐ持ち出せる場所に準備しておきましょう。

【問合せ】 五城目警察署 ☎018-852-4100

人事院東北事務局から

国家公務員採用試験のお知らせ

人事院では、以下のとおり国家公務員採用総合職試験、一般職試験、専門職試験を実施いたします。受付は消印有効です。申込書の請求や受験資格等の詳細については、ホームページをご覧ください。

◎総合職試験(院卒・大卒程度)

【受付】 インターネット：4月2日～9日

持参・郵送：4月2日・3日

【第1次試験】 4月29日

◎一般職試験(大卒程度)

【受付】 インターネット：4月10日～19日

持参・郵送：4月10日・11日

【第1次試験】 6月17日

◎一般職試験(高卒程度)

【受付】 インターネット：6月26日～7月5日

持参・郵送：7月2日～10日

【第1次試験】 9月9日

◎専門職試験

【実施試験】 財務専門官、国税専門官、食品衛生監視員、労働基準監督官、航空管制官など

【受付】 インターネット：4月2日～12日

持参・郵送：4月2日・3日

【第1次試験】 6/10

【問合せ】 人事院東北事務局第二課試験係

☎022-221-2022

人事院ホームページ <http://www.jinji.go.jp/>

男鹿地区消防本部から

定期救命講習会を開催します

心肺蘇生法及びAED(自動体外式除細動器)の取扱等の講習を行います。講習は無料です。

【日時】 毎月第3日曜日 9:00～12:00

【会場】 男鹿地区消防本部

【申込・問合せ】 開催日の前日までに男鹿地区消防署救急係へ ☎23-3139

太平山観光開発(株)から

東日本大震災復興支援を目的に施設を無料開放

東日本大震災から1年を迎え、心と体の復興支援につなげるため、以下の期間、クアドームザ・ブーン入館料及びオーパススキー場リフト利用料を無料とします。

【期間】 3月4日～18日

【問合せ】 太平山観光開発 ☎018-827-2002

今月のカレンダー

月日	行 事 名	場 所
3月		
1日	農業委員会定例総会(9:30)	役場
4日	野鳥観察会(9:00)	干拓博物館
6日	公立高校一般選抜学力検査等実施日	各高等学校
7日	中学校同窓会入会式	中学校
7日	村議会3月定例会(10:00,~15日,予定)	議会
8日	中学校卒業証書授与式(14:00)	中学校
11日	男鹿半島・大潟ジオパーク登録記念フォーラム(10:30)	サンルール大潟
13日	公立高校一般選抜合格発表	各高等学校
16日	幼稚園卒園式(10:00)	幼稚園
19日	小学校卒業証書授与式(10:00)	小学校
21日	中学校修了式	中学校
22日	幼稚園修了式	幼稚園
23日	小学校修了式	小学校
24日	保育園卒園式(10:00)	保育園
28日	中学校離任式(10:00)	中学校
30日	小学校離任式(8:40)	小学校
4月		
3日	保育園入園の集い(10:00)	保育園
3日	農業委員会定例総会(13:30)	役場
4日	小・中学校始業式	小学校・中学校
5日	小学校入学式(10:00),中学校入学式(13:30)	小学校・中学校
6日	幼稚園入園式(10:00)	幼稚園

3月の行政相談

行政や特殊法人等の仕事についての苦情や意見・要望を受け付け、その解決を促進するよう相談に応じています。お気軽にご相談下さい。

【行政相談委員】北村 シゲさん(西3-4、☎45-2918)

【相談日】3月19日(月) 10:00~12:00

【会 場】役場第2委員会室

人口のうごき

2月1日現在

◎世帯数 1,092(±0) ◎男 1,653(-8)

◎人 □ 3,338(-14) ◎女 1,685(-6)

施設利用状況

(1月)

公民館	978人
村民体育館	2,856人
干拓博物館	490人
多目的運動広場	—人
多目的グラウンド	—人
子育て支援センター	44人
村民センター	2,079人
ふれあい健康館	1,440人
ごみ処理量	80 t
水道使用量	38,898 m ³
下水排水量	43,226 m ³

今月の保健センター相談・健診

■保健センター ☎45-2613

◎乳児健診

日時：3月12日(月)13:00~

対象：4,7,10,13か月の乳児

◎健康相談

下記のほか、保健センター来所者の相談も随時受け付けています。

3月7日(水) 9:50~ ふれあい健康館

3月7日(水)13:00~ 保健センター

3月21日(水) 9:50~ ふれあい健康館

3月28日(水) 9:30~ 保健センター

◎福田先生の健康相談

いろいろな疾病の相談に応じます。お気軽にお出ください。

3月8日(木)・15日(木)14:00~15:00

会場・申込：保健センター ☎45-2613

◎小児科医師による健康相談

お子さんのことで悩んでいること、気になることがありましたらご相談ください。

日時：3月12日(月) 14:15~

相談医：湖東総合病院小児科医師

会場・申込：保健センター ☎45-2613

◎専門医による「心の健康相談日」

3月13日(火)・27日(火)13:30~15:00

会場：秋田地域振興局福祉環境部

申込：秋田地域振興局福祉環境部

児童障害者班 ☎018-855-5171

◎臨床心理士による心の相談

日時：3月16日(金) 13:00~15:00

相談者：臨床心理士 橋本まり子

会場・申込：保健センター ☎45-2613